

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

施策の推進体制

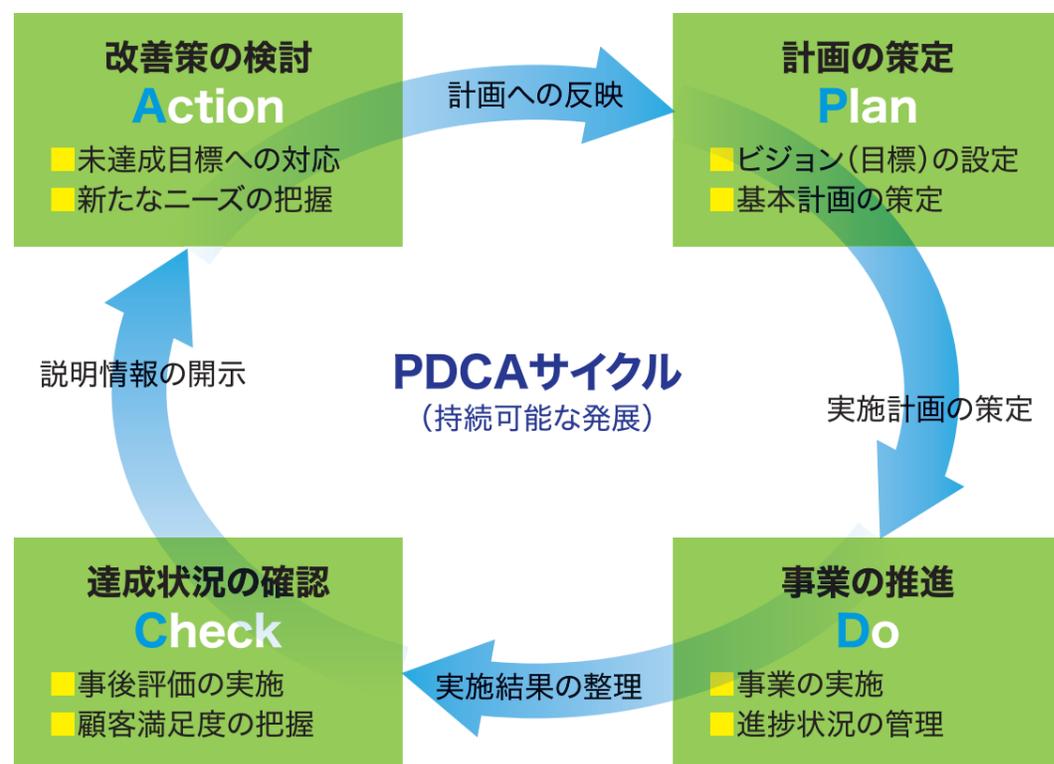
1 事業の進捗状況と事業実施効果の把握

水道ビジョンで整理した事業の実施にあたっては、進捗状況と併せて、事業の成果や効果を把握しておくことが重要であり、水道事業ガイドラインの業務指標などを有効に活用していきます。

2 計画の見直しにおけるPDCAサイクル

本市水道ビジョンは、約10年後を見据えた計画であり、目標年度である平成33年度においては水需要の動向、社会情勢、経営状況など、様々な要素で大きく変化が生じる可能性があるため、事業の中間段階における計画の見直しは不可欠なものとなります。

計画を見直す際には、計画の策定 (Plan) ～事業の推進 (Do) ～達成状況の確認 (Check) ～改善の検討 (Action) の※「PDCAサイクル」を実施し、当初計画の目標や事業推進における問題点、事業の有効性などを確認しながら、計画のさらなる推進や見直しを進めていきます。



●PDCAサイクルによる継続的な事業の改善

事業名	短期 H24~H26	中期 ~H29	長期 ~H33
災害に備えて			
水道施設の耐震化			
○和田浄水場の耐震化	■		
○光明台高区配水池の耐震化	■		
管路の耐震化			
○主要配水管の耐震化	■	■	■
給水拠点の確保			
○耐震性緊急貯水槽の設置	■		
水道施設及び管路の整備			
配水池等の整備			
○はつが野2号配水池築造工事	■		
○仏並配水・加圧ポンプ場築造工事	■	■	
○未給水区域(480号沿線等)の解消		■	■
老朽化施設の更新			
○施設規模の適正化		■	■
老朽管更新			
○普通・高級铸铁管(MCIP)の耐震管への更新	■	■	■
○ダクタイル铸铁管(DIP)の耐震管への更新	■	■	■
高区整備計画に基づく整備			
○(仮称)仏並配水池へのバックアップ管(2ルート化)新設		■	■
○父鬼配水池へのバックアップ管(2ルート化)新設		■	■
○簡易水道事業の水道事業への統合		■	■
環境保全への貢献			
環境負荷の低減			
○はつが野2号配水池太陽光システムの設置	■		
○高効率ポンプの導入	■	■	■
○建設廃材の再資源化	■	■	■

●水道事業の工程表